



おおもりりき 市長
大森力男 議員
(新政クラブ)

人口減少時代を控えて

コンパクトシティー推進



整備が計画されている大更駅前周辺はコンパクトシティーの取り組みの一環

大森議員 近い将来、確実に押し寄せる超高齢化、人口減少時代を控えて、コンパクトシティーを含めた八幡平市のまちづくりの考え方は。

市長 コンパクトシティーは有効な手段であり、「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」推進も取り組みの一環と捉えている。

大森議員 まちづくりの鍵を握るのはやはり人材である。企業誘致が進まないのも人材不足が要因であり、人材育成が必要と考える。

市長 高校生や大学生の地元定着が重要であると考えている。岩手大学では、直近4年間で平均34%の県内就職率を29年度に39%に目標に掲げており、

地元定着率向上の取り組みに期待している。

地域の経営戦略は 広域活性化が有効

大森議員 地域間競争の激化が予想される中、市内各地域が進むべき明確なビジョンや地域振興プロジェクトなど地域の経営戦略が必要である。

市長 盛岡広域圏での経済活性化の取り組みは、非常に有効と考える。次期総合計画での市独自の取り組みと併せて、推進に努めなければならない。

安代地区で有志が 地域振興策を提言

大森議員 人口減少が著しいことを危惧した安代地区で、

地元有志が地域振興事業計画を立案した。市民からの地域振興に対する思いであり、どのように考えるか。

市長 住民自らが話し合い、主体となって地域の将来像の実現に向かうことが、コミュニティセンター化の目的であり、その過程で地域力向上につながるのではないかと。



わたなべよしみつ 市長
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

市の住みやすさの向上へ

次期総合計画の中で検討



観光客の要望に応えるガイドの育成を

渡辺議員 東洋経済新報社が発表した「住みよさランキング」で、八幡平市は791都市中、総合669位だった。上位を目指すには、文化や芸術など、心の豊かさやおもてなしの心を生かしたまちづくりと実践活動が必要である。

市長 まちづくりを進める上で、文化や芸術、おもてなしなど、心の豊かさを生かした活動は重要になると認識しており、支援していきたい。

渡辺議員 公表された結果を踏まえ、各種計画にどのような取り組みを入れていくか。

企画総務部長 次期総合計画策定の中で検討したい。

渡辺議員 芸術や心の豊かさを進めるための拠点となる文化会館建設への取り組みの動きが見えてこない。

市長 ただ建てただけでは無駄な箱物になってしまう。運営や経営の手法を検討していきたい。

観光ガイドの養成

渡辺議員 八幡平の観光ガイド養成についての考えは。

市長 観光ガイド育成は、観光推進の課題であると捉えている。市観光協会をはじめ、関係団体と協議を進めガイド養成事業を検討する。

現庁舎の有効活用

渡辺議員 新庁舎移転後の現庁舎の窓口サービスの充実はどういうように対応するか。

市長 西根総合支所として窓口業務は他の総合支所と同様の取り扱いとし、開庁後から来年度末までの動向を検証した上で、必要な対応を考える。

渡辺議員 今後の現庁舎の効果的な活用方法は。

市長 現在、JA新いわての中央支所の誘致に向けて働き掛けをしている。



ふるかわつよし 市長
古川津好 議員
(緑松会)

災害危険区域を通知

説明会を開催し周知する



密集した看板の整理が必要

古川議員 広島市での土砂災害では、危険区域であることを市民に直接知らせなかったことが、多くの人命を失うことになった一つの要因であるといわれている。市内の危険な場所に住む人に、直接通知することが必要ではないか。

市長 市内では急傾斜地崩壊危険箇所などが169箇所ある。県から土砂災害危険区域の指定されたときには、住民説明会を開催するなどして周知を図りたい。

温泉会社を独立し分社

古川議員 6月定例会で市長は「温泉を供給する八幡平市産業振興(株)の給湯事業部門は、市が責任を持って整備や運営

に携わるべき」と答弁したが、分社する方向と受け止めてよいのか。

市長 本年度中に策定する分散型エネルギープロジェクトマスタープランで検討する。

焼走り駐車場周辺整備

古川議員 岩手山焼走り登山口の駐車場周辺の看板が乱立

して分かりづらい。また、駐車場のトイレは、天然記念物の焼走り熔岩流に観光客を迎えるトイレとして清掃が不十分と思う。どのように対応していくか。

市長 看板が密集しているのに関係機関と協議して計画的に改修を進めたい。トイレは八幡平市産業振興(株)が管理し

ているが、特に夏場に虫やクモの巣が張りやすいので、早急に改善するよう申し入れる。

古川議員 夏場の登山客のために、焼走りと馬返しの登山口を結ぶシャトルバスについて滝沢市と協議できないか。

市長 奥産道の松川と網張の連携もあることから、同様に担当者で協議したい。



たちばな やす ふみ
立花安文 議員
(八起会)

あしろ保育所畑分園

3歳未満児も受け入れる



来年度から3歳未満児も受け入れ
あしろ保育所畑分園

立花議員 あしろ保育所畑分園の園児10人のうち、本年度6人が卒園する。来年度の入园児見込み数によっては廃園があるのか。

市長 廃園は考えていない。来年度からは3歳未満児を受け入れることにしている。

立花議員 小規模保育事業の運営基準は。

地域福祉課長 畑分園の場合、国の基準では保育士の資格がなくても運営できるが、市では全員有資格者を配置する予定である。

安代老人憩の家を あずみの湯に併設

立花議員 安代老人憩の家は本年度で閉館し、来年度から

は綿帽子温泉館あずみの湯に併設する計画だが、利用料金などはいつごろ公表するのか。

市長 利用料金は西根老人憩の家と同じにするが、昨今の燃料費の高騰などから料金の見直しを検討しており、条例改正は12月までに行う予定である。施設管理は、指定管理を考えている。

立花議員 屋内ゲートボール場は解体しないでこれまで通り利用させる考えか。

市長 利用させたいと考えているが、管理の在り方を検討している。

立花議員 健康教室は継続するのか。

市長 あずみの湯で継続して実施するが、会場が1つにな

ることで問題が生じた場合は、回数を増やすなどの対応をしていきたいと考えている。

●他の質問事項

防災行政無線施設の屋外子局の土地使用料および市が借りている全ての土地使用料の定期的な見直し状況、目名市牛舎と兄川牧場および田代平高原について



せき ぜん じ ろう
関善次郎 議員
(自由クラブ)

土砂災害ハザードマップ

作成に向けて検討する



台風18号と集中豪雨で兄川地区の
市道が決壊し、住民が孤立した

関議員 昨年の台風18号と集中豪雨で、兄川地区の市道が決壊し、住民が孤立した。復旧工事は行われたが、今後の災害防止策は。

市長 今後、県に対して治山ダム施工を要望していく。

関議員 土砂災害警戒箇所を示したハザードマップを作成し、市民に災害発生のおそれ

があるときの対応策と避難経路を周知させる考えは。

市長 住民の防災・危機意識の向上のため、危険箇所や区域、避難場所などの情報を市のホームページや広報に掲載するなど周知する。ハザードマップは現在作成されていないが、周知する上で重要であり、作成に向けて検討する。

住宅リフォームの 助成を延長すべき

関議員 住宅リフォーム支援事業は本年度が最終年度だが、雇用確保のためにも延長すべきではないか。

市長 住宅リフォーム支援事業は21年度から実施しているが、22年度をピークに減少傾

向にあり、既に一定の成果を達成したものと分析している。

関議員 消費税が10%に上がることが予想され、本年度は今後、駆け込みで申請が増える可能性があることから、延長は検討できないか。

市長 下水道接続工事など、市の政策と合致する部分には一定の助成をしていきたい。

兄川リハビリ牧場 市民の雇用に活用

関議員 兄川リハビリ牧場は、市民の雇用拡大など収益を上げることに利用すべきである。
市長 全酪連で搾乳牧場を設置する計画があり、5月に市内の牧野などを視察した。事業実施を期待している。



た む ら よ し お
田村善男 議員
(八起会)

市内小中学校の危機管理

全校でマニュアル策定済



マニュアルに基づいた危機管理を
(平舘小学校・避難訓練)

田村議員 最近、子どもたちを対象にした事件が頻繁に発生している。また、思わぬ災害も想定される。市内の小中学校では危機管理マニュアルを作成しているのか。

教育長 不審者が侵入した場合の対応や登校下校の危機管理、行方不明や誘拐への対応、火災、地震、暴風洪水、大雪

などへの対応、感染症への対応などが盛り込まれた危機管理マニュアルのほか、いじめ問題に対してもいじめ防止基本方針を市内の全ての小中学校で策定している。今後もマニュアルの内容を随時見直しながら適切に対応できる体制を整え、子どもたちの安全を確保していきたい。

農業の後継者不足 解消策をどうする

田村議員 基幹産業の農業で次世代を担う後継者不足の解消策をどのように進めるか。

市長 農業を魅力あるものにしていくとともに、農業を就業として選択できるようにさまざまな場面で発信すること

が必要である。新規就農者への各種研修等の情報提供、研修受け入れ農家の選定を促進していきたい。また、市内の小中学校で農業体験学習などを行い、農業への関心を持ち、将来の農業従事者の育成を図る必要もあると考えている。

新規就農者等支援事業は、対象作物にこれまでのハウレン

ソウとリンドウのほかに、トマトやピーマン、キュウリを加えたほか、青年就農給付金については親元に就農する場合でも一定の要件を満たせば対象となることから周知を図りたい。

●他の質問事項 雇用対策について



井上辰男 議員
(八起会)

防災意識の周知徹底

市内全域で懇談会を開催



土のうによる土石流せき止め訓練
(8月30日・県総合防災訓練)

井上議員 市民への防災意識、避難意識の周知徹底をどのように指導していくのか。

市長 市内全域で開催している懇談会での情報をもとに、消防団の分団単位で地域防災計画の策定をしていきたい。

井上議員 地形や状況が違う旧3町村で避難勧告などの指標をどのように作成するのか。

市長 気象情報や土砂災害警戒情報などをもとに、発令基準を作成することになっている。

井上議員 昨年の豪雨で平館地区も国道282号の2カ所で冠水した。感じたことは。

市長 排水路が漏水を誘い込む形状となっている。西根バイパス開通に伴い、現在の国道282号は市の管理道路に

なるが、県には修正の上で移管するよう申し入れをした。

井上議員 県総合防災訓練でこれから生かされる教訓と課題はあったのか。

市長 岩手山噴火に対する備えを改めて考えるきっかけとなった。今後は市独自の総合防災訓練を定期的に実施していきたいと考えている。

平館・樺沢が次期産廃処分場候補地

井上議員 県の次期産業廃棄物最終処分場の候補地の一つである平館の場所と区分は。

市長 平館第2地割内の樺沢に沿う一部農地を含む平坦地で、管理型埋め立て処分場となる計画である。

井上議員 浸出水による農業などへの影響はないのか。

市長 周辺環境への影響を最小限にとどめるよう施設整備が計画されている。

井上議員 最終処分場が終了した場合の跡地利用は。

市民課長 県からはパークゴルフ場や公園としての利用は可能と聞いている。



山本 栄 議員
(日本共産党)

特産品を伸ばし雇用拡大

集落営農組織を支援



市の特産品・リンドウから雇用拡大を
(田山地区のリンドウ畑)

山本議員 策定中の第2次定住促進計画の中心政策は。

市長 雇用対策を重点課題と捉えている。課題を整理して計画を策定するとともに、次期総合計画に反映していきたい。

市長 現在、集落営農組合でリンドウ、ホウレンソウに取り組んでいるのは1組織だけなので、強力に推進していく。

山本議員 市の新規就農支援事業に、後継者が新たに就農する場合も支援すべきである。

山本議員 除雪が大変な高齢者のアパートの整備計画は。

山本議員 空き家条例や景観条例を制定し、適正な管理に当たるべきではないか。

空き家の適正管理条例を制定すべき

市長 現在、空き家の実態などをアンケート調査中である。条例の制定は、他市を参考に、成案に取り組みたい。



米田定男 議員
(日本共産党)

なぜコンパクト化なのか

集約型のまちづくりを



大更駅周辺は集約型のまちづくりで

米田議員 大更駅周辺まちづくり計画の基本的な目標にコンパクトなまちづくりを掲げている。どのような施策でも、その地域や住民のくらしの実態を踏まえることが基本であるが、大更駅周辺地域自体がコンパクトといえる規模なのに、巨額の投資を行ってコンパクト化を推進する必要性があるのか。市の財政から見れば、他の地域を置き去りにしかねないと言わざるを得ない。

市長 人口減少や高齢化、財政の効率化を考えた場合、地域の特性を踏まえ、選択に応じて一定程度の人口が集まって住み、都市機能が集約され、良好な住環境や交流空間を効率的に実現する集約型のまち

づくりをコンパクトなまちづくりと考えている。大更駅を中心としたコンパクトなまちづくりが他の地域の振興策に影響することはないことをご理解いただきたい。

米田議員 コンパクト化そのものを全く否定しないが、大更駅を中心にして半径400メートル程度の規模なのにコンパクト化といえる。

市長 どこに八幡平市としてどのような文化会館が必要かはこれから検討することになる。大更駅周辺に文化会館を建設すると決まったものではない。

副市長 西根病院は、さまざまな条件を比較し、今後、議会に基本計画を説明する中で、検討をお願いする。



きたぐち かずお 議員
北口和男 (無会派)

交流新拠点目指した整備

新庁舎周辺限らず全域で



新庁舎を交流新拠点の核に

北口議員 完成後の新庁舎周辺は、北東北3県の中心、盛岡以北の拠点を旨として、公共・民間施設などを設置できる土地を確保して整備するべきではないか。

市長 新庁舎の西側は、後藤川地区水田の圃場整備が計画されている。東側の国道282号沿道協の農業振興地域区

域外が対象になるが、土地の確保の検討には至っていない。拠点を旨として整備は、新庁舎周辺に限らず、現在進めている大更駅周辺の整備も含めた市内全域で検討したいと考えている。

北口議員 新庁舎での車庫整備に当たり、公用車の駐車配列の考え方は。

市長 車庫に配置するのは市長車や議長車など24台で、その他の車両は現在と同様、屋外に駐車することになる。

北口議員 4月に県で設立した「いわて花と緑の普及協議会」に、今後市はどのように携わっていくのか。

北口議員 現在、市場開拓や視察のため、生産者を中心に海外へ事業調査に出向いている。市職員も参加させるべきではないか。

市長 花卉振興法の施行されると、市にも努力義務が課せられる。職員が世界的視野で振興策を学ぶためにも、参加には前向きに検討したい。



くどう つよし 議員
工藤 剛 (新政クラブ)

農家の所得安定化対策

変化する国の施策の周知



米だけに頼らない農業を

工藤議員 担い手不足も含め、農業の発展には農家の安定した所得が必要だと考えるが、その対策は。

市長 目まぐるしく変化する国の農業施策を周知させることで、効果的に利用できるように推進する。

工藤議員 農業で安定した生活を送るためには、一つの産

業と捉えて指導するべきと考えるが。

市長 米だけに依存せず、米と別作物で経営を維持するなど、農家ではなく農業者を支援する制度に誘導していく。

市長 農協など集荷団体の対応を見てから、行政の対応を検討する。

市長 指摘のとおり整備したものを生かす事業も進めなければ人は集まらない。地元商店をはじめ、商工会などの意見を聞きながら進めなければならない。

市長 指摘のとおり整備したものを生かす事業も進めなければ人は集まらない。地元商店をはじめ、商工会などの意見を聞きながら進めなければならない。

大更駅周辺開発でどう人を集めるか

工藤議員 大更駅周辺開発でにぎわいを創出するには、道路などの整備と絡めて、どのように人を集めるか。

市長 大更駅周辺開発でにぎわいを創出するには、道路などの整備と絡めて、どのように人を集めるか。

●他の質問事項 市営住宅のあり方について



たかはし えつろう 議員
高橋悦郎 (日本共産党)

介護保険料の負担は限界

抜本的解決を国に求める



八幡平市の介護保険事業を広域で行っている盛岡北部行政事務組合

高橋議員 第6期介護保険事業計画が来年度からスタートするが、65歳以上の介護保険料はどのようになるか。

市長 盛岡北部行政事務組合管内では本年度に、グループホーム18床と小規模特別養護老人ホーム29床が整備予定で、給付費の増加により、保険料は上がる見込みである。

高橋議員 現在の介護保険制度では、高齢化が進みサービス利用が増えると、保険料が果てしなく上がっていく仕組みである。制度そのものが本来の役割を果たしておらず、限界にきているのではないかと考える。

市長 介護施設を増やせば保険料が上がる仕組みで、これ以上の保険料引き上げは非常に

に厳しいと感じている。今後、抜本的な解決策を国に求めていきたい。

高橋議員 全国の中には一般会計から繰り入れをして保険料引き上げを抑えている自治体もある。国が保険料引き上げの緩和策を行わないのであれば、自治体自身で行うべきであり、実施の考えは。

副市長 介護保険事業は、岩手町・葛巻町との盛岡北部行政事務組合による広域で行っており、八幡平市だけの判断ではできない。介護保険制度の趣旨から自治体からの負担はなまじないと考えている。ただし、現状での保険料の引き上げは相当の課題だと認識している。

高橋議員 盛岡北部行政事務組合が介護保険事業を行うことで、市の実態がよく見えなと感じるが、広域で行うことのメリットは何か。

副市長 広域でなく単独で介護認定審査会を行うのは、医師の負担が増える。また、広域で行うことで、人件費の削減にもなっている。